

みんなの 町議会

広島県
神石高原町

第53号

平成30年1月15日

楽しい年に
しましょう



| | |
|--------------|----|
| ■未来への種まき | 2 |
| ■こんなことが決まったよ | 5 |
| ■町政のここを聞く | 6 |
| ■ありやあどうなったん? | 15 |

12月定例会

12月定例会は12月11日から12月18日まで開かれました。

提出された平成29年度補正予算、教育委員会の委員の任命やがんばる神石高原町ふるさと応援条例の改正などを含む23議案を慎重審議し、いずれも原案の通り可決しました。

一般質問は9人の議員が、町政の課題などについてたどしました。

種まき

まいた種は？

チャレンジファンド

チャレンジ基金法人が設立された。今後起業家に対する支援が始まる。町の経済的発展と定住促進に夢が膨らむ。

新年のご挨拶



神石高原町議会議長 松本 彰夫

新年おめでとうございます。

町民の皆様には日頃から町議会に対し、暖かいご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

改選から早くも一年が経過しました。本年は、新しい本庁舎と町立病院の新築にむけ、取り組まれます。どちらも巨額の予算を投下しての事業であり、短期間での工事となりますから万全の態勢で臨まなくてはなりません。

今年も、皆様の所に積極的に飛び込み、皆様の声をしっかり拝聴して、それを反映させるように議員全員一丸となって頑張ります。

今年一年が町にとって、皆様にとって希望の持てる、素晴らしい年になりますように祈念して、年頭のご挨拶といたします。

未来への

町長が就任し1年

英語教育の推進

保育所〜小中高
校まで継続した英語教育
を推進していく。
平成30年度からは中学生
もオーストラリアの姉妹校
との交流を深め海外研修も
始まる。

ふれあい タクシー事業

多くの方々に利用して
頂き大変好評を頂いてる。
現在、内部での検証作業を
行い持続可能な事業にする
ため検討している。

産直市場

平成30年4月か
らまるごと市場に代わっ
て、(株)エブリイの各店舗で
の販売(地縁マルシェ)が始
まる。
今まで以上の産品販売が
期待される。



議員一丸となって頑張ります

補正予算をチエック



予算総額

補正予算 3億7373万円

補正後予算 109億1375万円

主な補正事業（一般会計）

遊休財産の解体処分等
（旧神龍中学校校舎） 2884万円

生活交通確保事業
（ふれあいタクシー等への補助） 1806万円

障害者介護給付 2200万円

農地・橋梁災害復旧 7726万円

総務課

運営事業費の比較

横尾議員 生活交通

確保事業は、平成28年度のふれあいバス事業運営費と中国バスに対する補助金に比較してどのくらいになると予想されるか。

総務課長 平成28年の当初予算は1億1千万〜2千万で、今年度は9800万円であっ

遊休財産処分

赤木議員 今回は旧

神龍中学校が解体処分となる。今後の計画はどうなっているか。

総務課長 広く意見を聞きながら、来年度中の早い時期に実施計画を決めていきたい。

だが、補正後は1億円余りと予想している。

産業課

水土保全整備事業

林議員 水土保全

の公益的機能の維持増進とは。

産業課長 降雨時の土砂流失防止、水源涵養機能と理解している。

まると市場管理

運営経費

木野山議員 トラック

の所有はどうなるのか。何故トラックの整備費を負担するのか。

産業課長 町の所有としてエブリイに貸付けたいが、出荷者から町が責任を持って集荷して欲しいとの要望があり現在協議中。町が集荷を行いエブリイに配荷する案もある。

木野山議員 発券機の取り扱いは。

ADSLの整備によるシステムの変更内容は。

産業課長 エブリイの発券機はネットを經由して情報交換をする。

年明けに町内4地区で発券機の取り扱い説明会を実施する。

エブリイへ全部丸投げするのではなく出荷者協議会を通じて町もかかわっていく。

環境衛生課

施設の定期点検

横尾議員 クリーン

センターじんせき施設経費の乾燥ファンの修理費が約4千万円であるが、定期点検の項目ではないのか。

環境衛生課長 定期点検の箇所ではなかったが、今後は定期点検として点検を行なう。

支障移転工事の内容は。

まちづくり推進課長 空き家など解約された家までのケーブルを外す工事費用。支障移転は中国電力の電柱移転に伴う設備移転経費。

福祉課

保育所運営経費

木野山議員 運営経費

が増額補正されているが、指定管理費の算定

基準の説明を。

福祉課長 基本協定書で児童数の変更や配慮の必要な児童数の変更による保育士の配置数などはその都度協議することになっている。

木野山議員 常に変動費に対応し経費を支出するのは指定管理の目的が問われる。

福祉課長 今後更新時には、制度の在り方を考慮しながら指定管理料の設定を行う。

まちづくり推進課

かがやきネット

事業は

木野山議員 解約撤去



解体処分が決まった、神石地区高光の旧神龍中学校の校舎。現在、民間工場に貸し付けている。

条例制定・改正

こんなことが決まったよ

全会一致

条例の一部改正

- ・がんばる神石高原町ふるさと応援条例

- ・チャレンジ基金の財源にふると納税が使えるようになりました

- ・町職員の育児休業等に関する条例
- ・民間労働法制の改正内容に即した見直し

他3件

全会一致

人事

- ・教育委員会委員の任命

- ・神石高原町小島

- ・森 恵美さん

全会一致

契約の変更

- ・工事 安田上地区水道工事
- ・請負者 安田工業株式会社

- ・工事量の増加による請負契約の変更

- ・金額 変更後

- ・1億7755万円

- ・工期 変更後

- ・平成30年3月30日

全会一致

財産の取得

- ・トマト栽培模擬経営用ビニールハウス等

- ・取得価格

- ・3548万8800円

- ・相手方

- ・福山市農業協同組合

- ・神石高原グリーンセンター

全会一致

財産の無償貸し付

- ・旧神石中学校跡地 5100㎡

- ・地域の高齢者福祉サービスを向上させるため

- ・相手方

- ・社会福祉法人 神寿福祉会

全会一致

計画の変更

- ・新町建設計画の変更
- ・保育所の建設などの追加のため

- ・過疎地域自立促進計画の変更

- ・トマト選果場屋根改修のため

全会一致

名称の変更

- ・字の区域及び名称の変更

- ・地籍調査の完了に伴うもの

- ・安田・牧・田頭の一部

議員発議

協同労働の協同組合法の速やかな制定を求める意見書

「協同労働の協同組合」には法的根拠がないため社会的理解が不十分であり、団体として入札・契約ができないなどの問題がある。

多くの市民・働く人たちが自ら事業法人をおこしやすい制度であり、そこで働くもの一人一人が社会保険制度の適用を受け、また、社会性・公益性・平等性を掲げる理念に立脚した「協同労働の協同組合法」の速やかなる制定を求める。

提案者 総務文教常任委員長 横尾 正文

道路整備に係る補助率等のかさ上げの措置の継続を求める意見書

道路は、地域住民の安全で安心な暮らしの確保や、経済社会活動を支える最も重要な社会基盤である。

地方創生に全力を挙げている地方自治体にとってかさ上げの措置の廃止は死活問題であり、本町の地域づくりに影響を及ぼし、地域活力の低下を招くことが危惧される。

よって、道路財特法の補助率等のかさ上げ措置について、継続するよう強く要望する。

提案者 産業建設常任委員長 久保田龍泉

町政のこころを聞く

質疑の一部を
要約して
お伝えします

質問時間は、答弁を合わせて
一人一時間以内で一問一答方式



横尾 正文 議員

問 意識改革がなされていないのでは

答 事務定例会で改善の協議を指示

Q 一部の医療スタッフによる言動から、住民が町立病院を敬遠していると聞く。患者の声を推し測ると意識改革がなされていないのでは。

A 町長 毎月開催の事務定例会において、住民から届いた声を伝え、課題があれば改善に向けた協議をするよう指示している。

Q 一部の医療スタッフによる言動から、住民が町立病院を敬遠していると聞く。患者の声を推し測ると意識改革がなされていないのでは。

A 町長 答申書の内容に反映はできない。保健課長 修繕などの内容は提示していない。協議会では町立病院の規模機能・運営形態について協議して頂き、指定管理の要件を決めては頂いていない。

Q 町立病院の規模であれば午後診療を行なうべきである。例規集には町立病院の診療時間は、午前8時30分から午後5時との記載がある。これに従って診療時間を決めるべきではなかったのか。

A 町長 県立病院の時も午後診療は実施されておらず、町に移管するとき「現在の医療体制を維持する」という内容で公募した。また午後診療を行えば、不採算額が膨らむ。しかし、予防接種など、午後の診療は実際に行っており、規則違反とっていない。

Q 夜間診療の看取りは実施すべきではないのか。

A 町長 これを行うには、当直医を2名体制にする必要があるため医師の確保と多大な経費がかかる。

Q 来年度で陽正会による指定管理は、2期10年となる。協定書の内容を鑑み、指定管理の原則に戻り再公募すべきである。原則に基づいて公募することで課題を考える機会

A 町長 実態を病院に聞き取りする。

Q となると思うが。

A 町長 指定管理者とも第3期の指定管理の方法や内容について協議している。また神石高原町立病院協議会を開き、外部の意見を聞いて平成30年2月をめどに方向性を出したい。



神石高原町立病院1階の診察室待合



橋本 輝久 議員

問 ビジネスコンテストの効果は

答 規模拡大や雇用の創出

Q ビジネスコンテストの受賞団体は。またわが町に及ぼす効果は。

A 町長 最優秀賞は(株)次世代教育環境開発の「小学生を対象とした全寮制インターナショナルスクール事業」

優秀賞は(株)中國開発神石エコファームの「食品リサイクルグループをいかした中山間活性化まちづくりプロジェクト」と(株)神石高原ティアガルトンの「JIN(神)フルーツ

ランドの創出とワイン・リキュール開発事業」

新たな事業展開や規模拡大、雇用の創出を望むものだ。

神石牛ブランド

Q 神石牛の都市部でのPR活動による畜産農家や町民に対する効果は。高齢化などによる、畜産農家の減少にどう取り組んでいるのか。

A 町長 都市部でのJIN(神)プレミアム神石牛を月1頭程度出荷できる体制は構築できた。取扱店を調整中だ。

また、府中市のアンテナショップでは忘年会などのメインメニューとして、神石牛ステーキを販売予定。

また繁殖農家は子牛価格の高騰により成果が出ているが、肥育農

家については、逆に負担が増している状況がある。生産体制の強化は、儲かる仕組みづくりが必要だ。

産直市場

Q 産直市場の統合案の状況は。

A 町長 産直市場の統合の時期は、182ステーションのリニューアルの完成が終わる平成31年3月を予定。

百彩館は、地元油木地区の活性化拠点にして欲しいとの要望が強いため、油木地区協働支援センターと連携を進める。

定住団地

Q 第2定住団地及び集合住宅の進捗状況は。

A 町長 現在、ボーリングなど調査を実施している状況である。

集合住宅の建設は、公営住宅の空き状況や需要動向を再調査している段階である。建設については、民間資本を活用したPFIの手法や費用負担割合などを検討する。

支所機能

Q 今後の支所機能と職員体制は。

A 町長 地方創生や各種緊急的な事業を推進するため、支所機能を含め検証を行っている。

今後は業務量に応じた人員配置を検討していく。

健康管理

Q 職員の健康管理は。

A 町長 健診や毎月開催する職員衛生委員会によるメンタルヘルス研修など健康管理に努めている。



ビジネスコンテスト 2次審査

新規就農者の農地確保は

答 できるだけ早くまとめる



久保田 龍泉 議員

Q 楽天との連携協定により新規就農者をふやす事業が進められているが、本町の受け入れ可能な農地確保（3〜4ha）の進捗状況は。

A 町長 有機農業で独立就農を目指す候補地として神石地区の数か所を考えており、テレファームから研修生が来て候補地を確認した。地元説明を行い、農地（畑地）を借り受ける話を進めている。

Q 産業建設委員会でテレファームへ研修に行った。全国規模での就農者の募集をしており、毎回かなりの応募がある。就農すれば耕作放棄地は少しは止めることができる。事務所も必要になる。加工工場などの展開は考えているのか。

A 産業課長 研修は2年で3年目から独立する。就農して栽培した野菜は楽天ショップなどで販売する。農機具や野菜加工施設の建設も計画されている。事務所の場所は未定だ。

Q 専従の職員を置き受け入れ態勢を急ぐべきでは。

A 産業課長 できるだけ早く農地をまとめた。

Q 福永、呉ヶ峠地区の方を対象にNPO法人と上山参事が出席して説明会が行われた。出席者の話では難民を含む外国人を受け入れ、インターナショナルスクールで子供を教育するということが進めるのか。

A 町長 難民とは一般的に政治的迫害や武力紛争から逃れるため、他国に庇護を求めた人である。教育を受ける機会を制限された子供を受け入れるインターナショナルスクールの開設が可能か協議されたものと聞いている。上山参事は個人的に参加した。

福永地区の説明会

Q NPO法人は、民間でありその説明会に参事が出席すれば参加者の中には役場の仕事で来たと思っただ方もいる。

A 参事の設置条例案が提出されたとき、反対討論がある中、私は賛成したが、そんなことをしてもらったため賛成したのではない。民間

の話とはいえ、地域に混乱と対立をもたらすことは慎重でなければならぬ。誤解を生むような行動は控えるべきだ。

A 参事 公務ではなく個人的に参加した。地域の事情を知っており、周辺を案内した。



実績のあるテレファーム農場（愛媛県大州市）



木野山 孝志 議員

問 基金ファンド事業の更なる拡大を

答 受け皿は幅広く持つ

Q 基金ファンド事業における資金支援は、※私募債および株式の引受けを想定されているが、新たに融資・貸付による支援は出来ないか。

A 町長 融資・貸付には、貸金業法などの要件を満たす必要があり難しい。私募債や株式の引受けも同じ効果がある。引き続き出来ないか検討したい。

Q 事業対象者としてどのような形を想定しているのか。

A 町長 基本的には、起業に加えて、既存の事業者が新規事業を立ち上げるものも想定している。

Q まちづくり応援条例の2条5項目にファンド事業を加えたがどの様に運用するのか。

A 町長 チャレンジ基金の財源とするが具体的に案件が決まったものは町が絡む形の※ガバメントクラウドファンディングによる資金提供もある。

Q 資金支援に於いて、寄付を財源とする助成金も想定されている。既に起業支援事業を実施しており平成27年度28年度において6起業者に各100万円を助成している。今後の考え方は。

A 町長 まちづくり推進課で対応できれば起業支援

援事業は廃止する。

Q 私募債・株式の引受けと助成金としての資金支援の選択基準は。

A 町長 参考 基準は曖昧なので理事会・評議委員会ですべて具体的に決定したい。

Q 助成としての資金支援については、新規商品開発、新規販路開拓など支援枠を広げたらどうか。

A 町長 具体的には、農産物の新規商品を開発した場合の開発費助成、その開発した商品を各都市部あるいはフランス・イタリアなど海外で開催される商談会への出品経費など新規商圏開拓への助成などが考えられる。

A 町長 6次産業化などへの補助金制度もあるが、案件ごとに精査して柔軟に対応したい。

Q 枠の拡大によりハードルも低くなりファンド基金事業の目的にも適うのではないか。

A 町長 受け皿は幅広く持ちたい。

Q 事業成果の報告・公表を通じて町の活性化に繋げてほしい。

A 町長 是非とも成果を上げ公表を通

じてしっかり全国にPRしたい。

※私募債は少数の特定の投資家に発行する社債(借入れ)

※ガバメントクラウドファンディングは自治体がインターネットを活用してPRし、その財源を確保すること。(ふるさと納税もそのひとつ)



9月29日発足したチャレンジファンド

問 脳脊髄液減少症の周知をすべきでは

答 早速、周知に取り組む



寄定 秀幸 議員

Q 脳脊髄液減少症とは、交通事故、スポーツ外傷などで、身体への強い衝撃により脳脊髄液が漏れ、頭痛、めまい、吐き気、倦怠感などの様々な症状が発症する病気である。

この病名が広く周知されていないのが現状であり、病気に苦しみながらも適切な治療を受けることができず、苦しんでいる人が多いと推測される。

町ホームページや広報誌などで周知をすべきでは。

A 町長 脳脊髄液減少症は、周りから十分な理解が得られず苦しまれていく事例がある」と指摘されている。

早期に適切な治療を受けていただくため、この病名を広く周知することは大切である。

町ホームページや広報誌などにより、病名や医療機関情報、相談窓口、患者家族会などの紹介に早速取り組む。

Q 学校現場での対応と取り組みは。

A 教育長 学校で事故が発生し、児童生徒に頭痛やめまいなどの症状がみられる場合は安静を保ち、医療機関で受診させたり、保護者に連絡したうえで医療機関での受診を促すなどの適切な対応をお願いしている。

町ホームページや広報誌などで周知をすべきでは。

☆脳脊髄液減少症とは？

脳脊髄液が漏れると脳の神経がひびかれて、さまざまな症状がでるのが特徴

事故後の後遺症として、通常の学校生活を送ることも考えられるので、教職員が脳脊髄液減少症に関する理解を深めるとともに、学習面を含めた学校生活の様々な場面への適切な配慮を行っている。

持続可能なまちづくり

Q 少子高齢化、人口減少への対応が課題の中、入江町政1年が経過した。この1年間の所感と持続可能なまちづくりへの取り組みは。

町長 「誰もが挑戦できるまちの創造」「任んでよかった」と実感できるまちづくりの実現に奔走した。「8つの挑戦」は総じて現在進行形であり、概ね順調に推移していると認識している。



将来の町を担う子どもたち（三和中学校文化祭）

A 町長 「誰もが挑戦できるまちの創造」「任んでよかった」と実感できるまちづくりの実現に奔走した。「8つの挑戦」は総じて現在進行形であり、概ね順調に推移していると認識している。

人口問題は、目標としている年間80人の社会増を達成していないので、「まち・ひと・しごと総合戦略」の見直しを行い、平成30年度から、具体的に施策に反映していきたい。



小川 善久 議員

問 政策医療交付金の改善案は

答 効率化で経費削減を図る

Q 2億円程度交付金として、病院へ支払われている政策的医療5事業の内訳と改善案は。

A 町長 ①救急医療にかかる人件費などの経費。
②人工透析にかかる経費。

③へき地診療における油屋地区や豊松地区への巡回診療にかかる経費。

④在宅医療にかかる人件費などの経費。

⑤中山間における地域医療は、運営全般に

かかる経費である。自治体病院としては、不採算と分かっているにもかかわらず、必要な責務がある。

財源は、県からの移管交付金など国からの地方交付税である。入院収益の減少で、

町から病院への交付金は年々増加している。

改善案は病床の効率化で人件費や経費削減を図る。

Q 人工透析は患者数を増やすために送迎をするなど努力をする必要があるのでは。

A 町長 透析患者さんでつくる腎友会があるので、そこで提案してみても、「それは良い」ということになれば、検討したい。

Q 在宅医療（介護・介助）に適した住宅を建設できないか。

A 町長 現在、町営住宅に空きがあることや在宅患者数、希望者数、財源など総合的に考える必要がある。

新築病院と庁舎

Q 今までの病院と違うところや患者や住民にとって、より使いやすくなる点は。

A 町長 庁舎については、住民に関係のある課を1階に置き、部署をバラバラに置かないなど考えている。

病院は、患者やスタッフの動きやすさに配慮した施設が現在と違うところと考えている。

庁舎と病院が隣接し、距離は近くなるので両方へ用事がある場合には便利になる。

また福祉団体の方々からの意見を聴きながら

ら、障害をお持ちの方でも使いやすい施設となるよう考えている。

Q 売店や食堂などは誰もが使えるようなものが考えられないか。

A 政策企画課長 早速に設計業者と相談する。



誰もが買物できる施設を（現在の町立病院の売店）

問 ドローンの活用は

答 宅配や災害救助用を検討



林 憲志 議員

Q 神石高原町はローソン号を走らせて、買い物難民を支援している。ドローンで宅配の実証実験はできないか。

A 町長 現在、南相馬市・楽天・ローソンの連携で実証実験が行われている。ドローンに3kgまで、荷物を載せられるので弁当などを届け、帰りの便で農産物を運ぶような実証実験をしたい。今、ドローン飛行の規制を調べている。

Q ドローン操縦者の雇用創出やドローンを活用した起業の促進、既存の町内事業者の振興は。

A 町長 民間による災害救助用ドローンの開発プロジェクトが発足されたことにより、町内事業者との連携や、ベンチャー企業の設立など起業や雇用拡大などを期待している。

国民健康保険制度の現状

Q 国保税が県内保険料統一化で本町は約21%の値上がりになるとの試算が出た。

国保の税負担率は他の保険より高く、低所得者が多い。本町では加入者の実態を把握しているか。

A 町長 加入者の所得が同じであつても生活状況は様々であり、状況を把握するこ

とは難しい。所得や家族構成、固定資産税などの違いにより、実際の保険料がどう変わるか試算中だ。

Q 一般財源の財政調整基金を国保会計に繰り入れ、国保税を1世帯1万円引き下げられないか。

A 町長 国民健康保険会計は、特定の事業を行う特別会計であり、一般会計と区分して経理することを国保法で定められている。保険税を下げるための繰り入れは、認められていない。

配食サービスと見守り

Q 配食サービスの助成は同居者が65才以上という制限はあるが、家族の実態に沿った助成が出来ないか。

A 町長 65歳未満の方でも障害がある

方で安否確認が必要で、調理が困難であり、お弁当など調達も困難な場合、該当者として支給決定し配達に係わる経費を助成している。

A 町長 要介護認定の中で福祉用具として認定すれば、認知症老人徘徊感知機器として介護保険が適用できる。

A 保健課長 今の所の適用だ。

Q インターネットを利用した「見守りカメラ」の活用は。



宅配・災害・教育など様々な地域課題の解決が期待されるドローン



赤木 俊二 議員

指定管理者の意見の反映は

答 事業報告書の提出により確認

Q 町内では、100を超える施設管理を指定管理契約で委託している。

指定管理契約の全体的な流れはどのようになっているか。

また指定管理者の意見は適切に反映されているのか。

A 町長 委託期間中は、毎年度終了後、事業報告書が担当課へ提出されて報告を受け確認を行うとともに、次年度における課題や要望事項について聞き取りを行っている。

る。

更新は指定管理者から提出された資料を基に指定管理選定委員会が担当課から意見聴取と審査を行っている。

Q 堆肥センターは指定管理料が0円だが運営は出来ているのか。

A 産業課長 畜産農家が使用料を払って利用し、堆肥を販売し管理費を賄っている。堆肥の流通支援としての補助があり、それがないと運営は難しい。

Q 堆肥センターの指定管理料の検証を行うとき指定管理選定委員会が指定管理者から直接意見を聞くことはあるか。

A 総務課長 現在はない。必要によって今後はそういった場も考えていきたい。

英語教育の推進

Q 重要施策の一つである英語教育の推進について、現在までの成果と今後の展望について伺う。

A 町長 保育所では英語に慣れることを目標に取り組んでおり今後も継続する。教育長 小・中学校では2人のALTを中心英語とのかかわりを持たせている。興味関心を高めるため様々なプログラムを実施し実践力を育成している。

平成30年度より中学生の海外研修も予定している。

Q 海外研修は、はっきりとした内容が決定し学校現場に混乱の無いよう対応すべきだ。

A 教育長 2月末までには具体的な研修内容を決めていく。

少人数学級への対応

Q 少人数学級が増えている。一人ひとりに目が届くなどのメリットもあるが、切磋琢磨する機会が少なくなるなどの課題もある。対応は。

A 教育長 今年度より町独自の施策として油木・豊松両小学校の全児童が集まり教育活動を展開するなどの集合学習を行った。とても効果があったと認識している。

Q 統合を見越しての活動か。

A 教育長 まったくそうといった意図はない。現在の体制を維持していく。



期待される学校教育の現場（三和中学校公開研究会）

問 ふれあいタクシー 事業の検証結果は

答 引き続き町内600円で行う



横山 素子 議員

Q ふれあいタクシー事業は住民の方から大変好評を頂いている。今年度は試行的に行っているが、来年度の予算編成に向けて検証をした結果、現状と今後の課題を伺う。

A 町長 75才以上の約6割の方が登録され、1ヶ月の利用者数は約510人で、登録者数の4割近くの方が利用されている。利用者の方からは、非常に好評を頂いている。経費については、当初の見込みは3970

万円だが、このままいくと5760万円かかる見込みで、12月補正で1800万円を追加させて頂いた。町外の医療機関通院補助についても、毎月40〜50人の方が利用され、経費は片道2500円程度の負担に収まっているので十分な補助となっている。

Q 次年度も引き続き町内600円の補助は行うのか。

A 町長 引き続き町内600円の補助は変えない。持続可能な制度となるように、住民の方にもできるだけ乗り合わせて利用をして頂きたい。

Q 広域路線バスが廃止された一部の地域の支援は考えているのか。

A 総務課長 一部の地域においては病院に限らず買い物などにもタクシーを利用できるようにする予定だ。

吉備中央町との連携

Q 11月に吉備中央町と「生きるものに優しい町づくり」を推進する連携協定を結ばれたが、町長の思いと町にもたらずメリットを伺う。

A 町長 吉備中央町は競走馬の第2の人生をサポートするNPO法人を支援している。本町は犬の殺処分ゼロプロジェクトを推進するNPO法人を支援している。「動物福祉」の観点から「生きるものに優しい町づくり」を推進したいという思いが合致し、県をまたいだ連携ができるのではないかと考える。

メリットは、両町は中山間地域として共通の課題を抱えており、広い分野で情報交換し、共に課題解決を図っていけると考える。



大好評のふれあいタクシー事業

Q 連携事業の内容について伺う。

A 町長 5項目の内容については早々に「連携推進会議」を設置して具体的な取り組みを進めていく。

追跡

ありやあどうなったん?

神石高原地域

創造チャレンジ基金

ビジネスチャレンジを行う事業者に

資金的援助と経営指導

町が主体となり、平成29年9月に神石高原地域創造チャレンジ基金を設立し、そこで資金を集めて起業や新規事業を希望する事業者に資金支援を行うとともに経営指導やアドバイスを実施しフォローしていく。平成29年度は3千万円を準備しており、将来的には2億円規模の基金を予定している。

平成28年12月には相談会を行い、平成30年2月には財団が応募した事業者の審査と決定を行った。3月以降に資金提供が行われる。12月の相談会には8事業者の相談があり反響は悪くない。



神石高原地域創造チャレンジ基金設立

まちの声

○赤ちゃん誕生ニュースも輝きネットに載せてほしい。
(60代 女性)

○9月定例会の報告大変わかり易く高齢者でも理解できて読みやすかった。
(90代 女性)

○路線バスがなくなっても大変困っています。買い物バスでも出たら助かります。
(70代 女性)

○クイズ問題をヒント無しにしてほしい。必然的によく読むようになるのでは。
(70代 女性)

○パソコンで故郷の神石高原のホームページを開き季節感を思い出しています。議員の皆様が活躍される姿に感激です。車での帰省、福山から交通の便が悪く困ります。
(尾張旭市 男性)

○町道の舗装で傷みのひどいところがあります。処置をしてほしい。
(60代 男性)

○神石サロンを前のように10時から15時に戻してほしい。
(60代 男性)

多数のコメントありがとうございました。各担当課とも連携し対応をしていきたいと思えます。

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。

クイズの答え

- ① 連続
- ② 値上げ
- ③ 住宅

第34回議会クイズ当選者

油木地区

逸見利夫さん

おめでとうございます。

元気なグループ紹介だよ



三和流星太鼓



三和流星太鼓は今から26年前の旧三和町立ち上げの団体です。会員や継承者の不足により10数年前から活動休止していましたが。3年前から会員募集を再開し、現在では10人となりました。昨年4月から練習を開始し、毎週月曜日午後7時30分から練習をしています。今年の文化・芸能発表会が初舞台となりました。今後の三和流星太鼓はこの若い会員を中心に活動の場を広げ、町内の各イベントに参加し神石高原町を盛り上げていきます。日々練習を重ね向上していきますので三和流星太鼓への温かい応援とご協力をお願いします。興味のある方は是非一度練習を見に来て下さい。お待ちしております。

奈良木 和希子

発行責任者

議長

松本彰夫

住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

第35回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

1. P3 ○〇への種まき
2. P15 神石高原地域〇〇チャレンジ基金
3. P16 三和〇〇太鼓

《ヒント》議会広報をよく読んでね。

《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》

〒720-1522
神石高原町小島二〇二五番地
神石高原町議会事務局
「第35回議会クイズ係宛」

《締め切り》

2月10日（土）消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は3月です

表紙の紹介



神石高原ホテルでクリスマスコンサートを行った三和中学校吹奏楽部の部員たち

編集後記

議員となり、1年経ちました。未だ分からないことも多く、毎日が勉強と思いつつ過ごしています。

広報委員の仕事で何度も読み合わせを行うことで、読者に如何に分かりやすく、また読んでいて飽きのこない紙面づくりを心がけてきました。今迄、聞いた事の無いような専門用語から、ひとつひとつの事業の内容まで、この読み合わせをする事で、とても理解が深まります。

議会の事を知らない方が読んでも理解出来るような紙面づくりをこれからも心がけます。（小川善久）

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 赤木 俊二 |
| 副委員長 | 横山 素子 |
| 委員 | 木野山孝志 |
| 委員 | 林 憲志 |
| 委員 | 小川 善久 |